

蔵王の森の四季

～'17 夏～

6月から、蔵王の森では、ジャコウアゲハが羽化しています。食草ウマノスズクサに産みつけられた卵から、幼虫、さなぎ、そして成虫へと成長する過程を、3年生は理科の教材として利用し観察学習をしました。

写真は、産卵する雌と、羽化した成虫です。



授業でも『地域の先生』としてお世話になっている市の自然に親しむ会の方が、森の北側のフェンス沿いに田川の土手から移植してくださったウマノスズクサが根つき、今年もツルを伸ばし葉を茂らせ、花もたくさん咲かせました。そこへジャコウアゲハの雌が卵を産みつけにきています。



森は夏を迎え、白いムクゲの花が咲き、ニイニイゼミセミ（左写真）、アブラゼミ、ミンミンゼミなどが大合唱しています。



五霊池には、スイレンが咲き、メダカが泳ぎ、ダルマガエルが水辺にたくさん集まっています。トンボにバッタ…夏の森は、生き物たちでいっぱいです。